

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 遠藤家之進正和
 新潟県山岳協会
 新潟市南区鷺ノ木新田1049
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編 集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

去る7月26日・27日にかけて妙高国際アウトドア専門学校において第29回北信越国体山岳競技会が新潟県山岳協会の皆さんの多大なる協力のおかげで無事終わりました。大変ありがとうございました。

皆さんも承知のとおり本年度大分国体より山岳競技も大幅な変革の年となりました。従来の縦走競技も踏査競技も無くなり、クライミングのみの競技会となり、その最初の年です。ロープを使い15米の高度で競うリード競技と、ロープ無しで5〜6米の高さで難度を競うボルダリング競技という2種類で競い合います。

いろいろな意味で試行錯誤のなか準備がすすみ何とか結果がでてホットしています。本国体参加はすでに決定している成年男子と今大会で成年女子、少年女子が参加権利を獲得しました。少年男子も健闘してくれましたが僅差で出場権を逃してしまいました。来年の新潟国体につながる選手の皆ぶりでした。ほかの選手の皆さんもおつかれさまでした。又役員の方皆さんも最初の年でもあり研修会やらいろいろ勉強会やらと大変だったと思えますが来年に向けていろいろ検討課題がみえてきたのではないのでしょうか。今回の経験を生かし、11月の新潟カップそして来年6月のリハーサル国体、10月の本番国体といろいろ大変ですが全国から集まってくる選手役員の皆さんに参加できてよかったと喜んでいただけるような大会目指しておたがい頑張っていきたいと思っています。



川は濁流だが渡渉はそれほど苦にならない。12..59(標高4722m) 氷河末端下部に到着。氷河正面は傾斜が強い上、硬い氷でピッケルを打ち込んでも跳ね返る。今回の装備では登攀不可能と判断し左岸を目指す。氷に堆積した岩屑と岩盤伝いに登り、13..27 末端上部に上る。堆積した岩屑の一番高いところにペナントを差し、アイゼンを



4751mにABCを設置する

第29回
 北信越国民大会
 山岳競技会をおえて

国体競技部長 阿部 信一(新潟山岳会)

中国青海の未踏峰
 P5656m登頂記録「1」

P5656m遠征隊員写真・食料担当
 鈴木 勝利(新潟山岳会)

7月24日 ABC(5013mまで偵察(敬称略))
 ABC設置後、12..32鈴木、佐久間の2名で偵察に向かう。川は濁流だが渡渉はそれほど苦にならない。12..59(標高4722m) 氷河末端下部に到着。氷河正面は傾斜が強い上、硬い氷でピッケルを打ち込んでも跳ね返る。今回の装備では登攀不可能と判断し左岸を目指す。氷に堆積した岩屑と岩盤伝いに登り、13..27 末端上部に上る。堆積した岩屑の一番高いところにペナントを差し、アイゼンを

着けて氷河を登る。地形を見ながらペナントを刺すが、氷が硬くて刺し込めない。蜂の巣状に残った5センチほどの氷でかろうじて立っている状態だ。氷河上には融けた氷が川のように流れている。14..12(標高5013m)で偵察

打切りとする。ここからはP5656mと隣のP5660mと連なる稜線が見渡せるし、水河の状態も確認できたので偵察の目的は果たせた。7本目のペナントを刺し、2000mロープ2本とスノーアンカー4本をデポして下る。下りでは水河下の川が増水していたが、渡渉の困難はなかった。

7月25日 アタック(敬称略)

朝5:00に起床。7:00ABC(標高4751m)を出発。オーダーは前日に申し合せた通り、佐久間、山田、井口、仁部、浅野、鈴木の順とした。但し、佐久間リードと鈴木ラストは変えず、後は柔軟に対応するとした。早朝の川水は少なくて澄んでいる。7:29(標高4838m)水河末端下部へ順調に到着。小休憩の後、水河の左岸から上り、7:51(標高4906m)水河下端上部に到着。岩層の上で雨具とアイゼンを装着し出発。雨降りなれども全員快調。登るに連れ、水河表面が蜂の巣状の水から軟雪に変わってくる。8:39(標高5022m) ※偵察時は5013m) 偵察時のデポ地点に到着。デ

ポの2000mロープ2本とスノーアンカー4本は二分し、山田、仁部とにそれぞれ担いでもらう。雨は止み、ガス模様だが視界はそれほど悪くない。全員快調。9:32(標高5170m)オーダーが乱れがちなので、休憩をとりながらミーティングを行う。佐久間、トレースから協側に5m以上離れないように申し合せる。登行速度にばらつきが出始めたものの全員元気が相変わらずのガスだが視界はそう悪くない。10:19(標高5320m)水河上部に着く。

ここまででペナントを16本を使い果たす。雪量約20センチ、雨に近いミゾレが降り、ガスで視界不良(50m)となる。登行速度にばらつきはあるが全員元気。ここでルートを再検討。第一案では、水河左端付近から急傾斜の斜面を直接登る最短距離としていたが、水河左端付近が荒れていたことと、斜面の雪量が多く不安定な様子なので、危険回避のため第二案に変更。第二案は、水河左端付近から右手の丸い膨らみへ向かって登り、元へ大きく湾曲しながら稜線鞍部

を指すルートだ。今回は丸い膨らみへ登る距離を短縮し、小さな湾曲で稜線に上るルートとした。既にリードの佐久間は山田と共に登りかけていたので、そのまま進むよう指示。10:56(標高5320m)視界も悪く、隊員の間隔も開きすぎたので、先行隊員を一旦止めて休憩とする。休憩時に、

第一、第二案のルート図を示し、ルートに対する隊員の不安感を払拭した。ルート説明については、ABCにおいて、全員に予め説明しておくべきであった。登行開始。斜面の雪量は30センチを越す。佐久間と山田は交代で懸命にラッセルを続ける、ご苦労様です。稜線から下る際の目印にしようとロープを準備したが、200mのロープは捌きが悪く、時間の浪費になるので中止し、現場にデポした。11:49(標高5407m)(N35°38'、39°33' E94°26' 03°33') 稜線鞍部の上る。ここから先はフィックスロープ不要と判断。山田の担いできた200mロープとスノーアンカーを現場にデポし、下降時の目印とした。稜線に上ると雪量も少なくなり、適度な硬さの水にアイゼンが良く効く。無風、ガス、気温高し。緩やかな起伏を越し、露岩の小突起で休憩を取りながら徐々に高度を上げる。時々ガスが晴れて陽が射す。ガスの晴れ間に見える水河や隣のP5660mの美しさに感動しシャッターを切る。13:37(標高5566m)所々吹き溜まりに足を取



頂上に迫る佐久間隊員 井口隊員撮影

る。休憩時に、

られながら、急な斜面を登り切ったあたりの露岩で休憩。登行速度と疲労度合に差があったが、高山症などの変調は無い。無風なれどもガスで視界不良、気温高し。14:02(標高5581m)無線の定期交信。昨夜のBCは大雨で、テント内に水が浸入しプール状態・など。14:12(標高5598m)浅野が疲労が出たのか、黄色い胃液を吐く。「胃の調子が悪いので」と言いながら持参の即効薬「ガスター10」を飲む。P5656mとの標高差は60m弱なので本人の意思を確認した。胃の不調以外の変調は無く、登頂意欲も高いので続行することに決定する。浅野は元々胃酸過多の体質で、山でも「ガスツール」を愛飲していたので、この症状は疲労が主な原因と考えられた。佐久間、山田、井口、仁部の4名は先行し、

浅野、鈴木は、体調を確かめながらじっくりと進むことにした。14:29(標高5614m)(N35°39' 01.16" E94°26' 11.98")露岩の小突起に着く。先行の4名が待っていた。無風、ガスで視界不良なれども時々ガスの間から

陽が射す、気温高し。P56 56mとの標高差42m。ここからは、うっすらと5656mピークらしき峰が見える。佐久間、井口が先行し、仁部がそれに続き山頂を目指した。浅野、鈴木はここでじっくり休息を取り、ゆっくりと登ることにした。あと僅かな登りで山頂だが、山田はここで昼寝して待っているとのこと。体力も十分な様子で顔色も良く、高度による変調は無いと思われたので再度誘ったが、どうしてもここで待っているとのことだ。気象の急変も無いと考えられたので、山田とは、絶対にここを動かないこととで合意し出発。BCの片桐とは、15:30で行動打ち切りの原則を申し合せていたが、5656mピークへの到達時刻は、確実に15:30を超えると判断された。しかし、ここで初登頂を目前に引き返しては一生後悔を残すことになる。よって今回は、初登頂の意欲を最優先とすることに決定した。じわじわと水混じりの岩稜を登っている途中、下降してきた佐久間とすれ違う。先行の3名は、14:55に佐久間、井口、仁部の順にP5656

mに立ったとのことだ。BCの片桐に無線で登頂報告をした際、山田は高山症の疑いがあるのでは、直ちに山田と二人で下山するよう指示があったとのこと。自分(鈴木)の判断指示とは食い違った。指示系統が重複すると隊員が混乱するので、ここは片桐の指示通り二人で下ることで申し合わせる。登ったトレースを確実に辿ること。稜線鞍部のデポロープとスノーアンカーを回収すること。下の斜面のデポロープとスノーアンカーは自分(鈴木)達が回収すること、などを打ち合わせて別れる。このあたりは岩稜の左側に雪庇が張り出し、時々崩壊するのを見る。岩稜の末端から僅か右方に変換して真直ぐに雪稜が続く。右側に5060センチの雪庇が張り出しているの、踏み抜かないよう慎重に登る。やがてガスの中にぼんやりと2人の影が見えた。待っていてくれた井口と仁部である。15:42(標高5655m) (N 35° 39' 11.56" E 94° 26' 11.06") 浅野、鈴木がP5656mに立つ。井口、仁部、浅野、鈴木の名で固い握手を交わす。GP

S高度5656mを4名の肉眼で確認したが、当時高度表示が5656と5655mを行ったり来たりしていて、ポイントした時点で高度記録が5655mとなった。山頂は思いの外に細く、右側は鋭く切れ落ちて、左側の斜面は急激に落ち込んでいる。生憎のガスで見通しが悪かったが、この先に高いピークが見受けられなかったことと、GPS高度が5656mを指していたことで、ここがP5656mであることを確信した。「新潟県山岳協会旗」を手に、4名で記念写真を撮る。16:17下山開始。稜線は濃いガスの中。16:43(標高5620m) ※登り時5614m)露岩小突起着。待機の山田は既に佐久間と共に下ったあと。ガスの中を時々吹き溜まりにはまりながら黙々と下る。17:17稜線鞍部。デポの200mロープ、スノーアンカーの回収済みを確認。ここよりやや右下方にルートを取り、氷河を目指して下る。先行者がトレースを外してないか慎重に観察しながら下るが問題なし。途中でデポした200mロープとスノーアンカーを回収し、

仁部が担ぐ。18:35氷河上部に下り立つ。無風、ガス濃く視界不良、霧状の雨降り。ここまで来れば迷いの心配は無いが、見通しが悪いので出来るだけ間隔を開けずに下る。19:18氷河末端上部に着く。休憩を取りアイゼンを脱ぐ。4名とも元気。ガス濃く霧状の雨止まず。岩層の下は硬い氷なのでスリップしないよう慎重に下る。19:36氷河末端下部に着く。案の定川が濁流と化し、流れが河原一杯に広がっている。水嵩も20センチ以上増し危険な状態。水流が強く川底が見えないので渡渉に苦労する。途中にロープがフィックスされていた。先行の2名が残したものだ。回収しようとしたが、一端を石で縛って沈めたもので、見当がつかずに手こずる。それにしても氷河から流れる水は冷たい。回収ロープは井口が担ぐ。更に数度の渡渉を繰り返して、20:22無事ABCに着着。登頂を祝い、アタック隊全員で固い握手を交わす。予定より帰着時刻が遅くなったので、今日はBCまで下らずABC泊まりとなった。

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th Anniversary

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinnigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR ユニオン航空サービス

第二交通大臣登録旅行業第029号 JATA代理店 (社) 日本旅行株式会社
本社：新潟県長岡市春日町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒240-0084 長岡市春日町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
一級旅行業専任主任 森 隆樹

□新潟営業所 〒950-0918 新潟市中央区2丁目2番11号 ☎ (025)246-2266
一級旅行業専任主任 中島 豊

未踏峰P5656m行動日程

日 付	移動・交通	行 動 概 要	宿 泊 地
7月19日(土)	新潟発 14:00 MU296 上海着 16:00 上海発 18:15 MU2154 西寧着 23:50	新潟空港より中国東方航空にて出発 上海浦東到着 乗り継ぎにて(西安経由)西寧に向け出発 西寧空港到着後、市内ホテルへ	華僑大厦
7月20日(日)	西寧～青海湖	ホテルにて朝食 青海省登山協会と行動打合せ会 昼食後ジープにて青海湖に向け出発 青海公路を、途中日月山峠を越えて青海湖に到着 ※信越山荘は既にホテル営業を廃止し、事務所として利用中	青海湖賓館 (間もなく廃止)
7月21日(月)	青海湖～ゴルムド	塩の道茶かを経由、死の砂漠・ツァイダム盆地を一路、青海省とチベット自治区を結ぶ町、ゴルムドへ向け公路を走る	中山賓館
7月22日(火)	ゴルムド～西大難	ゴルムドより西大難へ	玉峰食府招待所
7月23日(水)	西大難～BC	西大難からBC設営地へ BC設営 BCからABC設営地途中まで偵察	BC
7月24日(木)	BC～ABC	BC(4263m)～ABC(4751m)設営 第一次アタック隊はABC泊まり、2名がルート偵察	ABC
		第二次アタック隊はBCへ戻る	BC
7月25日(金)	ABC～5656mP	第一次アタック、5名登頂成功、1名5613mまで登高	ABC
		第二次アタック隊はBC及び途中の山中にて無線サポート	BC
7月26日(土)	ABC～BC	第一次アタック隊はBCへ戻る ※盗難の危険ありとして、ABCテントを一時撤収する 第一次アタック隊員と第二次アタック隊員との情報交換	BC
7月27日(日)	BC～ABC	第二次アタック隊はABCに向け出発したが、道が雨で悪路と化し断念しBCに引き返す	BC
7月28日(月)	崑崙峠	崑崙峠まで観光往復	BC
7月29日(火)	BC～ゴルムド	ジープ移動	中山賓館
7月30日(水)	ゴルムド～西寧	ゴルムド～青海湖～西寧と、往路を戻る 途中、雨のため公路が損壊し、ゴルムド郊外にてしばし足止めとなる	華僑大厦
7月31日(木)		西寧滞在(自由行動)夕食は登山協会会員と懇親会	華僑大厦
8月1日(金)	西寧空港 13:20 MU2151 上海浦東 17:55	ホテルにて朝食 空路(西安経由)上海へ 上海到着後、専用車にて市内レストラン「水上皇宮」へ 「水上皇宮」の個室にて夕食後ホテルへ	金明大酒店
8月2日(土)	上海浦東 09:25 MU295 新潟空港 13:00	ホテルより空港へ、 上海より中国東方航空にて新潟へ 新潟空港到着、解散	

越後の山に見られる 変種植物

むささび会 加藤 明文

◆ ヤエムグラ属 Galieem

⑳ キバナノカワラマツバ



▶母種
ヴィスン・ラーベクラウト
モンタコルピサン・ピレネー
スペイン 6月2日



▶エゾノカワラマツバ
八剣山 6月29日

県内高山の瓦礫まじりの草地に産する。北アルプスには特に多い。変種名 V, asialicum (アジアの) で北海道産の大型種をエゾノカワラマツバ V, Trachycarpum (ザラザラした果実) といい、白花品を F, Nikkoense (日光の) という。いずれも母種はヨーロッパ産で(独) Wiesen ヴイスン Labkrout ラーベクラウト(本来のラーベ草)。学名 Galium, mollugo (やわらかな)。属学名は「路地の」でかたすみの意。

第64回 トキめき新潟国体の 炬火採火式 行われる

さる8月26日、開幕まで一年となった第64回「トキめき新潟国体」のメイン会場にともされる炬火の採火式が行われた。採火式が行われたのは中越地震後ようやく復興しつつある山古志地区のシンボル一つである、山古志闘牛場で地元産の杉材をつかった火おこし器から山古志中学の生徒達が無事採火した。鎮魂・成し遂げつつある復興への感謝と大会の成功などの願いのほかに大会の行われる各自治体を取り組むごみ減量などの願いもこめられている。県山岳協会からは遠藤家之進正和会長が出席した。また9月20日(土)午前10時より、第63回大分国体へ参加の新潟県選手役員の結団式が県民会館で行われ、県山岳協会からも選手、関係者が出席した。



第11回 新潟クライミング カップ開催要項の訂正

受付 8:30~8:50
開会式 8:50~9:10
競技開始 9:30~
オブザーション 6分
競技時間 7分
参加費 3500円
参加賞 オリジナルTシャツ
申込方法 10月22日必着
申込先 〒943-0895
上越市御殿山7-37 頭師健一
携 帯 090-5578-5046
☆以上ご確認の上お申し込み下さい。

訃報

●去る8月22日、県内のアウトドア愛好者に親しまれている、長岡市のパーマークのオーナーである若林聡氏が亡くなられた。魚野川にて遊猟中、折からの増水もあつて渡渉中水難に遭われたとの事。県山岳協会のクライミング行事や本紙広告など多大な協力を頂いており残念でたまらない。心よりご冥福をお祈りします。パーマークは専務である若林雅弘氏が代表となられて平常に営業している。

腰痛・肩こり・冷え・筋力低下

細菌衛生・さい帯血保管 等

総合健康医療器機販売

メディカル ユングフラウ

電話 090-3173-0540

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

行事案内

◎第47回 自然保護

研修会案内

新潟県山岳協会 会長 遠藤家之進正和

自然保護委員長 本間一人

秋の研修会を10月18日～19日の日程にて開催いたしますので多数参加くださいますようお願い申し上げます。

主催 新潟県山岳協会

主管 新潟県山岳協会自然保護委員会

期日 平成20年10月18日(土)～19日(日)

場所 上越市吉川区尾神(尾神岳中腹) ゆうランド

☎025-547-2221

☆高速・柿崎インターより旧吉川町原の町へ尾神岳の標識あり。

日程

19日	18日
11:00	14:00
7:30	7:00
7:00	6:00
7:00	18:00
尾神岳登山	懇親会
ゆうランド	閉会・講演
	受付

講師 山本 明氏(上越市在住) 日本野鳥の会県支部 上越地区探鳥の会代表

演題・山の鳥あれこれ(雷鳥)

持参品 日帰り登山装備、シュラフ、食器、食料(豚汁を用意します)

参加費 ￥4000 日帰り参加 ￥10000

申込先 〒950-00210 新潟市江南区横越上町2-11-6 自然保護委員会 本間 一人

申込方法 ハガキ又はFAX 025-385-2222

5(同電話) 締め切り 10月12日

☆11月15日 全国雷鳥会議があります。ウエルサンピア(新潟市佐潟)にて希望者は本間一人までご連絡下さい。

総務委員長 七沢恭四郎

目的 登山を通じて和気あいあいのもとに、各加盟団体相互の親睦を図る。

主催 新潟県山岳協会 主管 総務委員会

期日 10月25日(土)～10月26日(日)

場所 村上市高根(旧高根小学校)・天蓋山

日程 27日 15:00 受付 16:00 開会 講演 赤羽 正春氏 演題「熊」

28日 18:00 懇親会 6:00 起床 7:00 移動 7:40 天蓋山登山口 9:00 頂上 12:00 登山口にて解散

持参品 シュラフ、食糧、日帰り登山用具

参加費 ￥2000

申込先 〒943-0154 上越市稲田4-12-31 七沢恭四郎 TEL&FAX 025-523-7661

締切 10月20日

☆詳細は後日、各団体へ送付の案内書を確認してください。

編集こうき

▲偽装食品の報道に慣れつつになってしまっていたが、汚染米の食品への流出の規模の大きさと、少なくとも米に

関しては絶対の自信をもった聖域、新潟県で長岡の加工会社

社が関係していたとなると、只のおどろきと怒りでは済まされ

ない。性善説を規範とした常識、規則、法律、世の中の仕組みが大きくゆれている。

▲各地で行われている自然教室、あるいは何かとツアーなどで名前が知られた地域での山野草の大量の盗掘を新聞は報じている。一方、佐渡でのトキの放鳥がいよいよ始まる。地域、ボランティアの人達の丹精で整いつつある環境で無事生き抜いて欲しい。

▲佐渡の山々は山野草が豊富なところだった。盗掘による大量流失によって今後、保全が難しいとされている。人間の善悪の二面性には考えさせられる。人の本性について遙かに遠い冥界で性善説となえる孟子と性悪説が持論の荀子がつきない議論をしているにちがいない。

▲高くなった空と雲にさそわれて出かけた山だったが、出だしから刈払いのしてない道はスパッツをしていても朝露がしみこむほどだった。陽射しが強くなって汗がにじむ頃にかぎって顔にへばりつく女郎蜘蛛の巣の感触、もう結構です。でも目的を果たして帰り着き車のそばの石にどっかとお腹をおろす。涼やかで甘い匂いが風にはこぼれてくる。クズの花の香りだった。

会報・編集 浅野

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm